



コマーシャルキラーズ

COMMERCIAL KILLERS

BY CHRIS CONGREAVE

(訳注：この本は、CHRIS CONGREAVE のマジック28作品を集めたものですが、大半はカードマジックです。ただし、マニア好みの複雑なものではなく、すべて演技時間が短くリセットも瞬時に終わるものです。これは、CHRIS が主戦場としているのが、パーラーやパブ、テーブルホッピング、ストロークスタイルであり、相手がマジシャンではなく酒飲みを含む雑多な一般客であるからです。長々とカードを配ったりはしてられませんし、テーブルもないかもしれません。雑然とした環境の中で、とにかく客達の興味を掴むため、ブランクカードやギャグカードを使ったり、カードに字や絵を書いたり工夫しており、すぐに面白い結果が出るものばかりです。ただ、これらの作品は、CHRIS が長年かけて磨いてきたものであり、解説を読んですぐ出来るものは半分もありません。ミスディレクションやタイミングが大事なものが多いです。しかし最近では、日本でもCHRIS のような仕事のスタイルのマジシャンも増えていると思いますので、これらのマジックは大いに参考になると思い、この本場のストロークマジックの本を訳してみました。この世に練習の要らないマジックというものは無いので、これらの作品群の中から自分に合ったものを選んで、チャレンジしてください。一度身に着ければ、いろいろな場所で使えて重宝するものばかりだと思います)

本書によせて

本書の巻頭言を書かせていただき、名誉に思っています。

私とCHRIS CONGREAVEとの接点は、最初は2011年に彼のエフェクト「iCONTACT」を求めた時でした。その時は本人には合っていませんでしたが、そのエフェクトからは大いに得るものがありました。

そして、5年後にコンヴェンションでついに彼と会いましたが、その時我々がJOHN CAREYの共通の友人であることがわかり、大いに意気投合しました。私はCHRISの「iCONTACT」の進化形である「OMEN」を買いましたが、現在に至るまで使っています。その時CHRISの肩をたたいて頼めばただで「OMEN」をくれたかもしれませんが、そうはしませんでした。そんなコストより多くの恩恵を彼とのフレンドシップから得られると確信したからです。

CHRISは演じるのが楽でインパクトの大きいエフェクトを作るのが得意です。また彼はシャーピーで文字や絵をカードの裏に書くエフェクトを作る名人でもあります。「OMEN」以下本当にいくつものエフェクトで、カードにシャーピーで何かを書く必要があるのです。彼は内緒のビジネスで、シャーピー工場を営んでいるのではないかと思うくらいです。ただ、彼のエフェクトでシャーピーの使用以外に

共通しているのは、どれも本当に使えるものだということです。

CHRIS は長年実戦派のパフォーマーとして活躍してきました。そのことは彼の演技と作品に反映されています。彼は客をだますことと楽しませることのほど良いバランスが分かっており、それが彼をリラックスした魅力的なパフォーマーとしているのです。また作品も、客には最大のインパクトを与えるが、パフォーマーには最小限の努力を要求するものが多いです。

私は CHRIS のファンであり、彼の本はすべて持っています。あなたが今読んでいるこの本ももちろん手に入れて、あなたがこの巻頭言を読んでいる頃には、私は本書をむさぼり読んでいることでしょう。彼の本は、私の本棚でほこりをかぶっていることはありません。というのは彼の作品が、観客の前でテスト済みの実用的なものなので、いつも参照するからです。

本書の中にある作品は、あなたが使うだけでなく楽しんで演じるであろう強力なものばかりです。

ただ、私はあなたが使うものの中には少なくとも1つは、カードにシャーピーやマーカーで何かを書くものがあることを予言します。シャーピーなどは必ず用意しておいた方が良いでしょう！

また、私は「MINDS」コンヴェンションで彼が見せてくれたエフェクトがこの本にないことを祈ります。なぜなら、現在その素敵なエフェクトを出来る、数人のマジシャンの1人という優越感にひたっているからです。

そしてなにより重要なことは、CHRIS が一緒にすごすには最高の人物であり、コンヴェンションでビールを飲みながら話すのが楽しみな人物だということです。彼はほとんどいつも私に何かをやって見せてくれて、私を笑わせるか、大声を上げさせるか、死ぬほどびっくりさせてくれるのです。通常は、それらが一緒になるのです。コンベンションで、ニタニタしたりびっくりして騒いでいる男がいたら、それは CHRIS と会った後の私だと思ってください。

私の話はもう十分でしょう。皆さんはもう早く本書のエフェクトに進みたいと思っていることでしょう。あなたには、素晴らしい「おもてないし」が待っています。

2023年11月 MARK CHANDAUE

(訳注：MARK CHANDAUE はイギリスのベテランマジシャンであり、メンタリストですが、彼の作品も実用的なものが多いです。彼の著書も FT マジックから販売されています)

BLANK MONTE

(現象)

赤裏の3枚の空白カードとハートのQを見せます。客にQを見失わないようにと言ってカードをフェアに動かしますが、客はQを見つける事が出来ません。そこでカードを見せると、Qは消えており、パフォーマーのポケットから出て来るのです。

(やり方)

これには3枚の空白フェースカードと1枚の空白バックカード(フェースがハートのQ)を使

います。また裏模様が同じレギュラーカードのハートのQも要りますが、後で取り出したい所に入れておきます。私は上着の胸ポケットに入れてあります。

ハートのQ（ブランクバック）を表向きのポケットのフェースから2枚目にセットします（9頁の上図参照）。

—以下省略—

PREDICTION PACKET

（現象）

パフォーマーはWALLETから4枚のカードを取り出し、また中に1枚の封筒があることを示します。「この封筒は後で使います」と言います。客に4枚のカードのうちの1枚を思わせますが、パフォーマーは結果は予言されていると言います。

客に思ったカードの名前を言わせますが、3枚のカードは赤裏であり、客のカードだけが青裏なのです。さらにWALLETの中の封筒を開けると1枚のカードが入っており、それが客のカードに一致しているのです！

（やり方）

—以下省略—

代わりのハンドリング

—以下省略—

ESP STROLLER

（現象）

5枚の青裏のESPカードを見せたら、客に1つのシンボルを言わせます。仮に客が「O」と言ったら、それをトップに持って来て、「私には、あなたがOを選ぶことが分かっていました。そこで、予言として赤裏のカードからOを予言として持ってきました！」と言います。パフォーマーはポケットから1枚の赤裏のカードを取り出します。それがOのカードなのです。

さらに続けてこう言います：「実は、あなたはOしか選べなかったのですよ。それはこちらにはOのカードしかないからです！」

パフォーマーが手に持ったESPカードを見せると、それは5枚のカードではなくて「O」のカード1枚しかないのです。

(やり方)

—以下省略—

EDC

(現象)

パフォーマーは、携帯電話、紙幣、名刺を取り出します。客に1つを選ばせますが、仮に名刺を選んだとします。パフォーマーは、「私にはあなたが名刺を選ぶことが分かっていたのです」と言って名刺を裏返すと、「名刺を予言します」と書いてあるのです。

しかし、客はあまり感動したようには見えません。「あなたはひょっとして、すべての物の裏に予言が書かれていると思っているのではないですか？・・・実は、その通りなのです！」と言って、パフォーマーはまず紙幣を裏返します。するとそこには、「名刺を予言します」と書かれています。次に携帯電話を表返すと、画面には「名刺を予言します」というスクリーンセイバーが表示されているのです。

(やり方)

これは私のお気に入りのエフェクトです。私は毎日持ち歩いているキーリンクを使いますが、問題なく出来ます(20頁の図)。これは大きなリアクションが取れる素敵なエフェクトであり、「EVERY DAY CARRY (毎日持ち歩くもの)」から、タイトルは「EDC」となっています。

ティンには、通常のプレイングカードや、ブランクカードに何かを書いたものを使うことも出来ます。

—以下省略—